

CUSTOMER REVIEWS

「空のエール」体験記

コスモス保健センターで実際にワクチン接種を受けた3人の接種者に、接種会場の様子や印象について取材しました。

横手 光男さん (70)



接種の不安和らぐ対応に感謝

最初は後遺症などの心配があったけど、家族のためと足取り重く接種に行きました。会場でJALさんの柔らかい対応が不安を和らげてくれ、無事に2回目の接種が完了できました。この場で感謝を伝えたいと思います。

不安なく接種に臨めたおもてなし

車いすに乗る夫に気づいたスタッフが、自発的に車いすを押してくれたことが印象に残っています。「気が重い」と思っていた接種でしたが、終始すてきな笑顔で対応していただき、気持ちよく接種を終えることができました。



佃 清子さん (83)

プロフェッショナルの努力を絶賛

テレビ報道で町のワクチン接種にJALが協力していることを知っていました。実際に接種に訪れ、「やっぱりプロの対応は違う」と感じたし、彼女たちにとって慣れない福智町でよく頑張ってくれているなど感じました。

河野 浩さん (67)



SPECIAL INTERVIEW

新型コロナによる外出・出張自粛の影響で福岡空港も利用者が大幅に減少し、人財に余力があったため「今までできなかった地域貢献に力を込めよう」と検討していたとき、福智町から新型コロナワクチン事業の支援依頼を受けました。初めてのことに不安はありましたが、「信頼の深い福智町の皆さまの力になりたい」と、JALグループでは九州初のワクチン接種事業のお手伝いをさせていただくことになりました。弊社にとっても、地域のかたとの交流



は社員の成長につながると思っているため、このような機会をいただけたことに感謝しています。これまでのご恩をお返しできるように、JALならではのおもてなしで、暗くなりがちな今を明るく元気に暮らせるためのお手伝いできればと思っています。

住民の皆さまが朗らかに暮らし続けられる支援を

株式会社JALスカイ九州  
齊藤 久美子 代表取締役社長

「お注射の後、体調いかがですか」と優しく声をかけながら、経過観察が特に必要とされる接種者の目印である黄色のバンドをそっと巻くJALグループ社員・貞兼華乃子さん。



あなたに届け、空のエール  
Reach for the Sky!

新型コロナウイルス感染症の早期収束の鍵を握っているワクチン接種。65歳以上の希望者への集団接種が5月26日から始まりました。長年のつながりで実現したJALによる九州初の接種支援。そこに携わっているJALグループ社員への取材から、福智町のワクチン接種会場の様子をお届けします。

町と連携協定結ぶJAL九州初となる接種支援

大空への旅を世界最高峰のサービスで提供するJALによるコロナ禍の地域貢献として、福智町でのワクチン集団接種の支援が実現しました。九州で初めてとなるこの取り組みは、接種開始と同時にスタートしました。会場のコスモス保健センターでは、JALグループ社員8人

が参加。そして医療スタッフ9人、役員職員12人、人材派遣会社社員8人を加えたおよそ40人が接種運営に従事しています。

世界水準のおもてなし  
安心で円滑な接種進む

JALグループ社員8人のうち6人は福岡空港のグラウンドスタッフで、接種会場入口での検温、予約票の確認、接種受付の

業務を、残り2人は「JALナビ」の電話オペレーターで、接種予約の受付を担当しています。この8人は接種開始から連日、約200人ほどの接種者にJALの「おもてなしの心」を体現する佇まいで一人ひとりに対応。人の温かみを大切にするJALの支援により、大勢の接種者が安心を感じたことで、会場では大きな混乱を招くことなく、1日1日円滑に接種が進んでいます。